

平成24年12月17日

栗原 裕康 様

市民クラブ
代表 渡部一二実
鈴木 秀郷
二村 祥一
原 信也
梶 泰久
深田 昇

申し入れ書

沼津市議会市民クラブは、勤労市民は基よりすべての市民が幸せでいられる沼津市を目指して活動しています。

平成25年度の予算編成にあたりまして、できるだけ多くの方が幸福を感じられるような施策を推進されるよう申し入れます。

重点要望

- 1 沼津駅周辺総合整備事業を着実に推進する。
- 2 地震津波対策は想定の変更にも対応できるものとし、減災のための新たな避難器具や施策についても研究していく。
- 3 新たなゴミ焼却場など処理施設の開設に向けた検討を推進するとともに、最終処分場の今後の方針を決定する。
- 4 プラサヴェルデの活用におけ、街に人を集める施策を検討する。
- 5 エネルギーの地産地消へ向けた調査・研究を推進する。

一般要望

- 1 暮らしを守る施策の推進
 - ① 新たなコンポストの活用や小型家電リサイクルの検討およびゴミ分別方式の再検証等により、市民のためのゴミのリサイクル社会を目指す。
 - ② 水源涵養、治山・治水対策を含めた緑化推進と森林整備及び環境ボランティアへのサポートをしていく。
 - ③ エコ活動への支援制度を継続する。
 - ④ エコカー等普及に向けた基盤整備を図る。
 - ⑤ 新婚家庭が沼津市に住めるための住宅施策を実施する。
 - ⑥ 結婚相談窓口の実のある運営とPRを積極的に実施する。
 - ⑦ 住基カードの活用等、情報技術を駆使し、土日・夜間等での市役所窓口サービスを図る。
 - ⑧ 安全な自転車の普及等を検討し、自転車に関連する交通事故の軽減を図り、歩行者の安全も確保する。
 - ⑨ 防災ラジオの更なる普及を推進し、配布後の状況を確認する。

2 福祉を充実させる施策の推進

- ① 在宅介護を支援するための市独自の施策を推進する。
- ② 医療施設での入院・退院、介護施設への入所退所の際、その患者の受け皿施設を充実させる。
- ③ 高齢者の生きがいづくり健康づくりの継続実施と交流の場を提供するとともに、高齢者世帯・高齢者の一人住まい世帯への日常生活支援を充実させる。
- ④ 保育のニーズを細かく把握し、望まれる施設の拡充を図る。
- ⑤ 重度身障児の健常児との交流を拡大する。
- ⑥ 放課後児童クラブの施設の改善と拡充を図る。

3 暮らしを充実させる施策の推進

- ① 市内の小中学校のきめ細やかな教育環境の実現に向けた支援員、図書室利用の推進に向けた学校図書室支援員を増員する。
- ② 特徴ある沼津市立高校づくりを推進する。
- ③ 文化関連施設の在り方を検討し、博物館、美術館の設置を推進する。
- ④ スポーツを所管する部署の在り方を検討していく。
- ⑤ スポーツ施設を活用し市外の人との交流を図る。
- ⑥ 市民要望の高い総合体育館建設を推進する。
- ⑦ 市民のウォーキングルートの設定と環境整備を図る。
- ⑧ 定置用リチウムイオン電池の導入促進のための施策を実行する。

4 街づくりの施策の推進

- ① 都市型治水対策に積極的に取り組む。
- ② 上・下水道地域を計画的に拡大していく。
- ③ スマートインターチェンジの愛鷹パーキングへの設置工事の早期完成と駿河湾沼津サービスエリアへの導入を推進する。
- ④ 公共施設の駐車場対策を検討する。
- ⑤ 公共交通の利便性の確保と今後の在り方を検討する。
- ⑥ ものづくりを周知・啓発し、技術・技能尊重社会の醸成を図る。
- ⑦ 片浜工業地域のインフラを整備する。
- ⑧ 雇用創出を目指し、起業支援や企業誘致活動を積極的に推進する。
- ⑨ 滞在型市民農園の導入を検討するとともに、耕作放棄地の有効活用を図る。
- ⑩ 各種方策（沼津ブランド、ゆるキャラ、B級ご当地グルメ等）を展開及び海の有効利用による観光振興を積極推進する。

5 行政の効率化の推進

- ① 市から自治会への依頼業務の軽減を図る。
- ② 電子納税システムの導入等も含め、市民が税の申告・納付を簡易にできるようにする。
- ③ 関係する各部各課の連携を深める。
- ④ 「沼津市行政評価システム」の更なる充実を図る。
- ⑤ 環境施策が環境に与える影響および効果をわかりやすい形で示す。
- ⑥ 指定管理者制度の導入を検証し、利用者からの評価を公表する。
- ⑦ 周辺市町との連携をはかり、将来的に政令指定都市を目指す。

以上